

ブログ講座 パソコンを楽しもう

講座運営委員長 中丸哲子

楽しいブログ生活 井上晰雄

ブログを始めると日常生活の些細な事に目が向き気付くことが多くなります。心は自然にアウトドア志向、季節を追いデジカメが活躍するようになります。

趣味を同じくする人が集まりコミュニテイの場が出来て楽しくなります。ブログを新しいコミュニケーションツールとしてご利用ください。楽しいブログの輪が広がる事でしょう。そんなブログ社会が出来れば幸甚です。

- 1. 講座名 「ブログ講座」
 - 2. 実施日時 月曜日 10:00~12:00
 - 3. 講師 井上 晰雄
 - 4. 内容 「初級」・「中級」とあり内容は異なります。画像処理や動画作成などブログに UP する技術を学びます。そのための基本を学ぶ講座です。
- 備考) 講座の日程など SNK パソコン講座表で確認ください。

【第一回久留米ん町探検隊】

隊員は 22 名の大変賑やかな探検となりました。

大石町、梅光町、津福本町、荘島の神社など旧跡を巡りました。案内役を廣津さんに、また、池青寺では、住職に寺の歴史や言い伝えについてお話を伺うことができました。約 3 時間の行程でしたが、隊員一同は久留米の町の見聞を広めました。 記:平岡清志

【今回の探検場所】

◆大石神社⇒大隈天満宮⇒池青寺⇒二つ橋⇒処刑場跡



上⇒(オフ会)のひとこまによる昔ん話の説明



カルメンさんに化粧ばして貰(モ)ろち、他所者(ヨソモン)ごつなち、舞台上(ア)がったたい。夜(ヨサリ)も寝(ネ)らんで覚えとった話しばってん、ころっと忘れちもち、頭中真っ白たい(白かた髪のみだけでんよかとに)博多弁・筑後弁・佐賀弁混(マ)ぜち喋ったけん誰(ダツ)でん解(ワカ)ったじゃろうか心配じゃったたい。又やりたか〜。 記:高木保幸

メインリスト委員会から 委員長 和田豊郁

第3回 文字化け (mojibake は国際語！)

と文字コードの話

電子メールでは文字は一度数字に変換して送り、受信側でその数字を文字に戻して表示しています。暗号解読のようなものだから、送る側と受ける側が同じ暗号符号表(文字コード表)を使う必要があります。文字コードには多くの種類がありますが、電子メールに用いられる日本語の文字コードは『ISO-2022-JP』と決められています。

しかし、○付きの数字・文字やローマ数字、単位などの組文字などは『機種依存文字』で、ユーザー登録文字も含め、他の機種では正しく表示することができません。

この不便を解消するために作られた文字コードに『UFT-8』がありますが、時代を先取りして設定しても、古式ゆかしき『ISO-2022-JP』にしか対応していない古いメールソフトでは、逆に完全に文字化けして何も読めなくなります。現時点では機種依存文字の存在を知り、電子メールやブログでは用いない、という消極的な対応をするしかありません。

アートだよ、会員の活動情況

杉野佳世子さん

「たそがれ」大川市総合美術展 洋画の部 佳作

「ヨーロッパの街角を面白くイメージで描きました。ユトリロとシャガールが好きだから色使いは意識しました。はじめて20号を描き、賞を頂き佳作とはびっくり、先生の指導のおかげです」と謙虚な杉野さん。毎月のお絵かき勉強の成果です。(紹介者:一ノ瀬尚文)

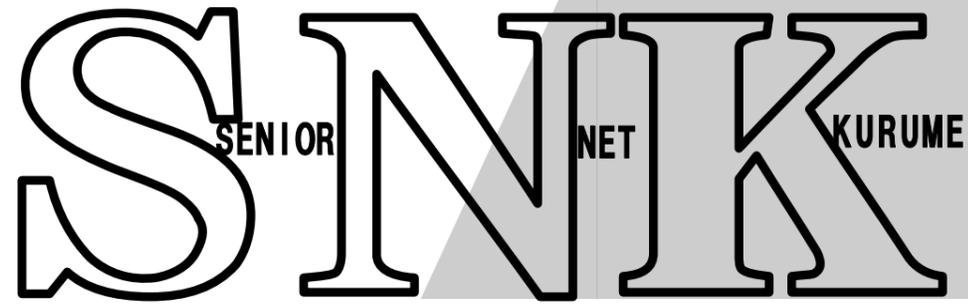
NPOくるるん 子どもたちから

癒しの森公園園化計画に沿って、荒木農園では季節ごとに収穫祭を行います。くるるん(子育て支援ボランティア)の子どもたちを招待、そのお礼状を子どもたちからいただきました。



「おいもほり楽しかったです。ご飯も美味しかった」と嬉しそうなお手紙です。みんなでまたお出で。

あとがき: 2055年には65歳以上高齢者人口は40%超を示す統計データがある。少子化Stopに「未来は明るい」展望が欲しい。暗い世相は鬼夜で厄払いです。(武)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

新しい年を迎えて

事務局長 金子忠次



フォーラムのパネルディスカッションで今津理事長(左から2人目)が報告

シニア世代はさまざまな問題を抱えています。高齢化社会を迎え、増える認知症、孤立する老人世帯、不安を覚える年金など。政権交代は、これらの問題にメスを入れる方向で期待されるものの、シニア個人の抱える現状にもメスが必要です。これからは団塊の世代を加えていくシニア世代、生き甲斐を感じ、やり甲斐へ進化させることで糾合できる、解決の道を開いていきたいと思っています。

「シニアネットフォーラム21 in 九州」が熊本市で開催(昨秋)されSNKから理事が参加しました。その際「シニア情報生活アドバイザー」制度について若干の知見を得ましたので報告します。

この制度は、「(財)ニューメディア開発協会:東京本部」が認定する資格制度です。アドバイザーの資格を得て、行政との協働で開催されるパソコン講座の講師、或いは公民館等でPC相談員を務める等、情報生活に関する地域リーダーとして活躍できる要件となるものです。資格は、アドバイザー養成団体の開催する所定の養成講座を受け、試験に合格し認定を受けねばなりません。(県のIT地域リーダー資格とは別のもの)

SNKの現状は、会費収入と会員の講座やHP作成収入、ステップ運動など事業収入、協賛企業による協賛金、などではありますが「なんとかせにゃならん」とは皆さん周知のことです。そのためSNK組織は対外交流を活発化し、地域企業や行政との信頼関係を再構築し強化する必要があります。新しい年を迎えて、SNKの現状を見直してアクティブシニアへの変身を図る必要を感じています。そのため会員の中の埋もれた人材発掘を進めます。コアスタッフを強化しながら、シニアネットの生きがい創造からやり甲斐創造への転換を、新しい時代に見ようとしています。

わたしの1枚...傑作

2009.1.7 撮影 高木保幸



日本一大きな(直径1m・長さ13m)の本の大松明による追儺の火祭。筑後地方の年頭を飾る代表的な祭りである。国の重要無形民俗文化財に指定され、日本三大火祭(熊野の火祭、鞍馬の火祭)のひとつといわれている。鬼夜の行事は、昼の鬼面尊神の神事と種蒔き神事、夜の大松明廻しと鉾面神事・鬼の堂回り行事となる。中でも鉾面神事は、祭神が妖賊退治の様子を示したものと、いわれて特色のあるもの。「大善寺玉垂宮の鬼夜」説明資料より

大昔「水沼の君」と呼ばれ筑後平野を治めた丈夫がいた。古文書や遺跡、そして「鬼夜」と呼ぶ追儺の民俗行事が今に残されている。玉垂宮や水沼の君、桃桜沈輪の大きな謎が解け、古代史の厚い壁がいつか開くかもしれない、と密かに考えたりしています。

練習日 日曜日 (毎月1回:HPで確認下さい)
会場 長門石町 久留米市総合福祉会館/1F 作業室
動きやすいシューズ、ダンスシューズのいずれか必要。
(入会金不要、会則などは無。集まった方の練習会です)

特集 シャルウィダンス

この指とまれ、みんなで踊ろう みんなで踊れば怖くない

シャルウィダンスはSNKで10年続くサークル
<http://www.kumin.ne.jp/ko241207/dance.htm>
(日常の活動はSNKのHP・ブログをごらん下さい)
シニアのボケ防止にも最適な身体と頭脳の体操にもなります。

ロイ・小川という人

逸話1 山芋掘りの農夫、焼鳥屋のおじさん、いつも美女に囲まれて踊っている果報者

『ロイ・小川のイメージは多彩で、山芋掘りの農夫、焼鳥屋のおじさん、いつも美女に囲まれて踊っている果報者等なのですが、私から女性にちょっかい出すような人間ではございません。魅力ある方ばかりですが家内の目が光っているし、お酒の方が好きだしねえ』

パーティダンス (パーティ等で踊るダンス) とは

- ・マンボ
- ・ジルバ
- ・ルンバ
- ・ブルース等

ディスコも面白い・・・さあ、始めましょう!



ダンスは上手くなる

代表世話人 小川恭市(ロイ・小川)

シャルウィダンスはSNK 設立以来続いているダンス教室です。世話人の私は、初代から引き継いで6年目の二代目世話人です。初代は資格を持った先生でしたが私は只の踊り好き、いつまで続くやらと見られていたようですが適材適所、初心者相手には一寸踊れる私程度が丁度良かったみたいです。素人のよさで、何処が分からないか何故出来ないかがすぐに分かります。サークル活動の中でも接触があり人柄もよく知ってもらっている事もあり、何でも聞ける。私も分かるまで何度も繰り返す。

先日、新聞で王監督に一本足打法を指導した荒川氏の談話を読みましたが覚えるまで何万回も教えるとか。社交ダンス習得の秘訣はリピートと幼稚園児に帰ることです。

連続して流れる音楽に合わせて踊り続けるには音楽に乗る事が大切です。最初は知った曲じゃないと踊れないのはそこです。そのうちにリズムに乗れるようになって知らない洋楽でも踊れるようになるのが面白い。こうなると後の進展は早いですよ。プライドが高くてチーチーパッパなど出来るか、という方は駄目のようですね。スローとクイックが分からないなら口に出して1, 2, 3, 4と言いながら踊ると分かりやすいのですが、恥ずかしくて中々出ない。私が口に出しての指導です。

ダンスの効用はボケ防止にもいいそうで、ダンス愛好者はボケが少ないという統計も出ているそうです。次から次に変わるステップに体が反応する(男性は繰り返す)。異性と踊るといふ事で心のときめきもある。姿勢、服装等の見てくれにも気を使う等、いろいろあるから良いのかなと思います。



オフ会にはフラメンコを踊る方もいますがダンス会員の中にも民謡、ベリーダンスを踊る方がいます。練習は月1~2回です。最近では初歩から一歩進みチャチャチャに入りました。気楽に気長にがモットーのシャルウィダンス、一寸やってみようと思われの方は何時でもお出で下さい。

美味かもんば食う会から一言
一言でいえば彼は寡黙なる焼き鳥名人です。いつの「美味かもん」においても、彼が黙々として焼き鳥を焼いている姿を見なかった事はありません。材料も、肉に限らず、魚でも野菜でも彼の手に掛かると魔法のように絶品料理に変身します。そのほか、山芋掘りがSNKの誇る三大名人の一人であり、釣りに関しても中々の腕前と聞いています。貴重な才能がどんどん出てくる楽しい人です。



毎月の練習でスロー・クイック・クイックとリズムをとって踊ると体がスムーズに動き出す。毎回ではないが茶会も楽しい、顔を合わせると積もる話がモリモリ溢れ出る、そんな楽しさがあります。月1~2回の例会は待ち遠しい。

荒木農園・菜園師範 乗富豊

「荒木農園の収穫祭で食べた山芋は農園に育つ山芋でした。SNKの誇る芋掘り3名人の1人はロイ小川さんです。朝から準備して掘り出した山芋は、午後の鉄板焼きで姿を変えて、その秀逸な味でみんなを喜ばせた。時間がとれたら農園で無農薬野菜作りにも挑戦したら。みんなで待ってます」

逸話2 TV番組に、父が掛かったときの医師が出てびっくり、次に島井さんが出て来られ二度びっくりでした。

『病勢は悪くなる一方で、父は入院を決意したものの、やがて家で死にたい、パン一切れ置いて貰えれば迷惑はかけない、と言うようになりました。家にいると家族は何も出来ない、姉、私、弟と皆する事があるんだよ、と言うと何も反論出来ず黙り込んだ。昔は70過ぎが寿命だった。父も45歳ほどで両親を看取り、自由に生きてきた。何故私は還暦になるまで縛られるのか、の思いが残った。死後も後片付けは丸投げ、長男って割が合わないですね。苦勞の体験をさせてもらったことだけが遺産でした』

人は老いる、そのとき家族ははじめて老いと向かい合う癒しの森公園化計画 島井新一郎

「長男って割が合わない・・・苦勞の体験をさせてもらったことだけが遺産です」とのことですが、父上の介護確かに大変なことだったですね。唯、ものは考えようで・・・私は姉との二人姉弟ですが、別居していたので母の面倒をみる事ができず一人で旅立たせてしまったことが今でも心残りです。最期まで面倒をみる事が出来たことは幸せだったと考え直してください。「積善の家に余慶あり」きっといいことがありますよ」と私のボランティア活動がテレビで放映されたのを見た先輩からいただいた言葉です。小川さんは間違いなく兄弟の皆さんから尊敬されているという余慶あるはずですよ。

サークル仲間の声

竹下さん：教室に参加して未だ1年ですが、体脂肪が減り筋肉がついたのが体調は断然よい。効果ありです。
小柳さん：スイミングで身体をほぐしています。ダンスをもっと楽しみたいんですがいろいろと多く、出席率が悪いので反省。
田中かよさん：ダンス教室では踊る雰囲気が好きです。リズムにのり身体が自然に踊りだすのが楽しい。
保坂さん：デスコダンスを楽しみにしています。先生の教え方が良いのでしよう、何時までも楽しんで続けています。
田中絹さん：繰り返して覚えていくので着実に力が付いています。生徒も増えてきましたね。
太田さん：上手な人たちの真似からはじまったんですが1年になる。自分でもだんだん自信が付いてきた。
早川さん：音楽が好きだからリズムに乗って踊りたい、気持ちと身体がうまく合わないときがありますね。
平山さん：ダンスもカメラも仕事も元気の基です。何時でもどこでも元気を分け合って暮らしています。
☆ロイ小川さんから一言：初めての人は、知っている曲のリズムから入るのが易いですよ。ステップは練習で覚えます。踊り込めばレベルは上がってきます。